

多機関共同研究用

2023 年 1 月 24 日作成 Ver.1

**研究課題名 「脾癌併存急性脾炎症例における微小脾癌診断のための多施設
後ろ向き研究」に関する情報公開**

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日に当院名古屋大学医学部附属病院消化器内科、および近畿大学医学部附属病院消化器内科において急性脾炎の治療がされ、その後の経過観察中に脾臓癌と診断された患者様です。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：脾臓癌は予後不良な癌であり、これを改善すべく様々な研究が行われていますが、未だに解決策の見えない病気です。急性脾炎は主に多量飲酒が原因で発症する病気ですが、まれに脾癌がこの原因として隠れていることがあります。急性脾炎は主に CT を撮影することでその重症度を判定します。一方で、脾癌、特に腫瘍の大きさが小さな微小な脾臓癌の診断のためには MRI 検査や超音波内視鏡検査が有用と報告されています。今回は対象期間内の患者様に対して行われた CT や MRI、超音波内視鏡検査の時期や所見を後ろ向きに検討すること急性脾炎に隠れている脾癌をどのような検査で診断していくべきかを検討する研究を行うことを計画いたしました。

研究方法：電子カルテより患者さんの CT 画像、MRI 画像、内視鏡検査画像や臨床情報を調査します。

研究期間：実施承認日 ～ (西暦) 2024 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、生活歴、臨床症状、画像検査所見

試料：本研究は後ろ向き研究であり新たに採取する検体や試料はありません

4. 外部への試料・情報の提供

臨床情報および画像データは完全匿名化し、個人が特定できないような状態でパスワードロックのかかる媒体に保存します。対応表は、各機関の責任者が保管・管理します。研究代表機関である名古屋大学医学部附属病院で解析を行います。

5. 研究組織

本研究の研究組織は以下の通りです。

名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 教授 川嶋啓揮

名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 講師 石川卓哉

名古屋大学医学部附属病院消化器内科 病院助教 山雄健太郎

近畿大学病院消化器内科 特任准教授 竹中完

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、研究結果を公表した後は、お申し出頂いた患者さんのデータを除去できない場合があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL/FAX : 052-744-2602/052-744-2602

名古屋大学医学部附属病院消化器内科 病院助教 山雄健太郎

研究責任者・代表者：

名古屋大学医学部附属病院消化器内科 病院助教 山雄健太郎